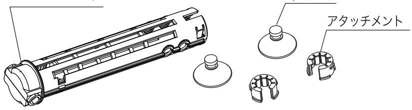
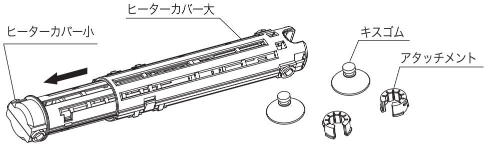
使用方法

1 各種パーツがあるかご確認ください。

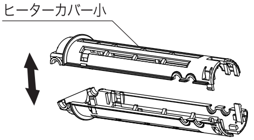
ヒーター安全カバー S

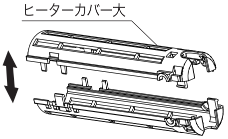


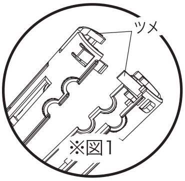
ヒーター安全カバー L



2 下図のように、ヒーターカバーを 2 つに割って外してください。その際に※図 1 のツメを破損させないようにご注意ください。



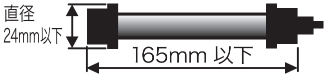




※各箇所にあるツメを押しながら外してください。コツはヒーターカバーの接合箇所をつまむようにして、内側へしぼめるとツメが外れやすくなります。

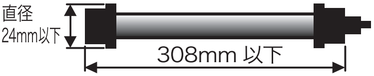
使用できるヒーター（別売）

ヒーター安全カバー S



長さ 165mm 以下・太さ 24mm 以下

ヒーター安全カバー L



長さ 308mm 以下・太さ 24mm 以下

■上記条件のコトブキ工芸製ヒーター。（コトブキ工芸製のオートヒーターパッケージ及び取扱説明書には、ヒーターカバーの使用禁止を表記しておりますが、**本製品はご使用頂けます。**）

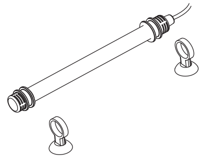
■上記条件のコトブキ工芸製以外のヒーター。※**オートヒーター及び温度ヒューズなど空焚き防止機能の付いたヒーターには使用できないものもあります。**コトブキ工芸製以外のヒーターご使用の場合は、念のため販売店または当社までお確かめください。

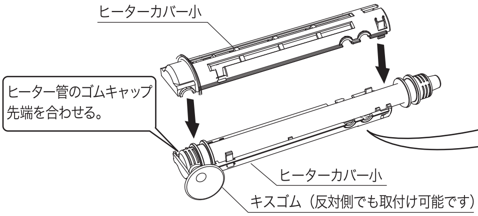
■ご使用になるヒーター本体の取扱説明書もよくお読みください。

ヒーター安全カバー L をご使用の場合。 ヒーターの長さが 165mm 以下の場合は、**ヒーターカバー大**は使用しません。

3 ヒーター管の頭を下図のように合わせ、キスゴムを好みの側へ設置し、ヒーターカバー小のツメを装着してください。

※ヒーター管に専用のキスゴムが付いている場合は取り外してください。

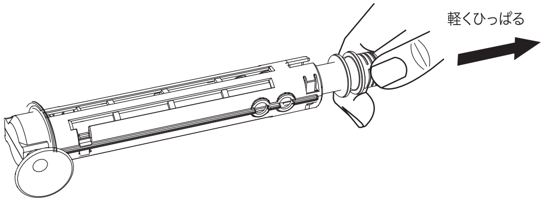




ヒーター安全カバー S の場合

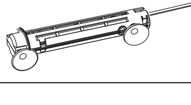
ヒーター安全カバー S をご使用の場合は、図のしめす場所にもキスゴムを取付けてください。キスゴム取付け部は片側 2 箇所あります（合計 4 箇所）。設置するヒーターのゴムキャップ部にあたらない方に設置してください。

4 ヒーター管を下図のように軽くひっぱり、容易にヒーター管が抜けない事を確認してください。容易に抜けてしまう場合は、もう一度始めから（3 の手順から）やり直してください。また、ヒーター管のゴムキャップ部が細く設置できない場合は「ヒーター管のゴムキャップ部が細い場合」をお読みください。



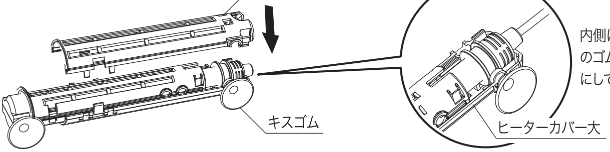
ヒーター安全カバー S の場合

ヒーター安全カバー S をご使用の場合は完成です。
ヒーターカバーからヒーター管が出ていないか確認ください。



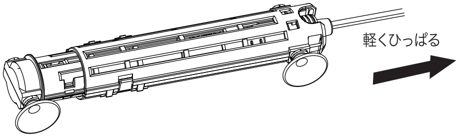
完成

5 ヒーターカバー大を図のようにヒーター管が隠れるように合わせ、キスゴムを好みの側に設置し、ヒーターカバー大のツメを装着してください。



内側にあるストッパーに、ヒーターのゴムキャップ部を引っかけるようにして合わせてください。

6 ヒーター管を下図のように軽くひっぱり、容易にヒーター管が抜けない事を確認してください。容易に抜けてしまう場合は、もう一度始めから（5 の手順から）やり直してください。



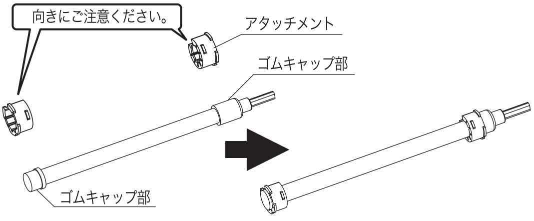
ヒーター安全カバー L

完成

※ヒーターカバーからヒーター管が出ていないか確認ください。

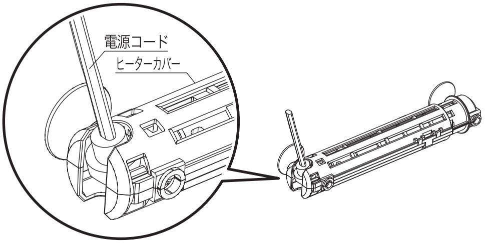
ヒーター管のゴムキャップ部が細い場合

●下図のようにアタッチメントをヒーター管のゴムキャップ部に装着してください。装着したら 3 の手順より設置を行ってください。



その他の特殊形状の場合

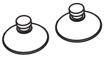
●下図のように電源コードが直角に出ているタイプのヒーターは、図のようにヒーターカバーに設置してください。



オプション（別売）

■キスゴムの交換は下記商品をお求めください。
※キスゴムは劣化しますと、吸着力が低下します。定期的な交換をお薦め致します。

K-163 ヒーター安全カバー用キスゴム（2 個入）



安全にお使いいただくために

本品は必ず水中へ！

●ヒーターは高温で大変危険です。万が一の空焚き時に樹脂自体が燃えて発火することはありませんが、熱により変形したり溶けたり、煙を出すことがあります。近くに燃えやすい物（紙や布など）があると発火の危険性がありますので、十分にご注意ください。（空焚き時のヒーター管は約 500 度以上の高温で非常に危険です）

本品を水中から取り出す場合は、ヒーターの電源を切り、冷ましてから取り出すこと！（発火の危険性があります）

本品は必ずろ過器などを併用して、水の流れのある所に設置すること！（誤作動の危険性があります）

■本品は観賞魚用品です。他の用途にはご使用にならないでください。
■本品は必ず水中でご使用ください。空気中に出すと熱で変形して溶けたり、煙を出す場合があります。変形した場合は、新しい商品と交換してください。
■本品は砂利の中に埋めたり、 石などの飾物をかぶせたりしないでください。また、 水槽の水は必ずエアポンプやろ過器を使用し循環させ、必ず水の流れのある所に設置してください。正しい温度制御ができなくなります。
■本品を水中から出す場合または、セットする場合は、水槽で使用している電気製品の電源プラグを抜いてから行ってください。 また、 水中から本品を取り出す場合は、ご使用のヒーターの電源を切り、 ヒーターが十分冷めているのを確認してから取り出してください。（約 15 分以上冷ましてから）
■本品の隙間に入る習性を持つ小さな魚の飼育や、稚魚などを飼育している場合は隔離ケース等で隔離してご使用ください。
■ご使用になるヒーター本体の取扱説明書もよくお読みください。
■本品（ヒーター）は必ず横置きにセットしてください。縦置きは誤作動の可能性があります。
■定期的に水温計で、適正な温度になっているか確認してください。
■本品とヒーターとの隙間にゴミや汚れコケ等が付着すると、誤作動を起こす可能性があります。定期的に掃除をしてください。
■チタン等金属製ヒーターは、ご使用にならないでください。

※製品の改良又は、その他諸事情により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。

250110①　000209

KOTOBUKI 生活ロマンを創造する
コトブキ工芸株式会社
〒580-0043　大阪府松原市阿保2丁目122-4
Tel.（072）333-2208　Fax.（072）333-0369

お客様相談窓口 ☎072-334-8828
受付時間：土日祝を除く、月〜金曜日
AM9:00〜12:00　PM1:00〜4:00
http://www.kotobuki-kogei.co.jp/